

- 問1 フランスのパリ付近など、高緯度に位置しながらも冬の気温が極端に下がらず、一年を通して穏やかな気候になる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 季節によって風向きが逆転する季節風が、夏に海から湿った空気を運んでくるため | 2. 赤道付近で発生した上昇気流が、年間を通じて安定した多量の雨を降らせるため | 3. 寒流のカリフォルニア海流の影響で、夏でも気温が上がらず一定に保たれるため | 4. 暖流の北大西洋海流の上を吹き、温かい空気を運んでくる偏西風の影響を受けるため |
|--|---|---|---|
- 問2 ブラジルは世界最大のサトウキビ生産国であり、その生産背景にはエネルギー政策も深く関わっています。ブラジルにおけるサトウキビの利用や生産状況に関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 1. 熱帯雨林の保護を目的に、生産量を厳しく制限する政策がとられている。 | 2. アメリカ合衆国から輸出された種子を用いて、温帯地域での栽培に特化している。 | 3. アフリカから伝わったカカオの栽培技術を応用し、近年生産量が急増した。 | 4. バイオエタノールの原料として利用され、ガソリンの代替燃料として普及している。 |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|---|
- 問3 ロシアのシベリア地方などの寒冷な地域では、建物内の暖房の熱が地盤に伝わって永久凍土が溶けるのを防ぐための工夫がなされています。一方、パプアニューギニアなどの熱帯地域では、通風を良くし、地面からの湿気や害虫を避けるための工夫がなされています。これらの異なる気候帯において、共通して見られる「床を地面から離して高くする」建築様式を何といいますか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|-----------|---------|-------------|
| 1. ゲル (移動式住居) | 2. 石造りの住居 | 3. 高床住居 | 4. レンガ造りの住居 |
|---------------|-----------|---------|-------------|
- 問4 モンゴルの草原地帯で伝統的に使われている、羊の毛 (フェルト) を覆いに利用したテントのような移動式住居の特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 家畜の移動にに合わせて、簡単に組み立てや解体ができるようになっている | 2. 熱帯の高温多湿な気候に合わせ、風通しを良くするために高床にしている | 3. 周囲に木材が豊富にあるため、太い丸太を組み合わせて壁を作っている | 4. 雪の重みに耐えられるよう、屋根を急勾配にして石を積み上げている |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
- 問5 熱帯雨林気候における農業の仕組みについて、カカオなどの特定の農作物を輸出目的で大規模に栽培する農園形態を何といいますか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-----------|-----------|---------|
| 1. プランテーション | 2. オアシス農業 | 3. 地中海式農業 | 4. 混合農業 |
|-------------|-----------|-----------|---------|
- 問6 赤道付近の低緯度地域で見られる熱帯のうち、一年を通して気温が高いものの、降水量の多い時期とほとんど雨が降らない時期がはっきり分かれている気候を何といいますか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|-----------|---------|
| 1. サバナ気候 | 2. 熱帯雨林気候 | 3. 地中海性気候 | 4. 砂漠気候 |
|----------|-----------|-----------|---------|
- 問7 アフリカ北部から西アジアにかけて広がる、樹木が育ちにくい乾燥地域において、伝統的な住居の主な材料として利用されているものはどれですか。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|---------|
| 1. 高床式の木材 | 2. 氷のブロック | 3. 日干しれんが | 4. 厚い丸太 |
|-----------|-----------|-----------|---------|
- 問8 ブラジルのマナオスのように、月ごとの平均気温が常に25度から30度の範囲にあり、全ての月で100ミリメートルから300ミリメートルを超える高い降水量を示す地域の自然環境や成因について、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|---|
| 1. 季節風 (モンスーン) の影響を強く受け、夏に降水量が集中するが冬は乾燥する。 | 2. 中緯度において偏西風の影響を受け、年間を通じて気温の変化が少なく一定の降水がある。 | 3. 夏は中緯度高圧帯の影響で乾燥し、冬に低気圧の影響でわずかな雨が降る。 | 4. 赤道付近で強い日差しを受け、盛んに上昇気流が発生することで、年中高温多雨となる。 |
|--|--|---------------------------------------|---|
- 問9 1990年から2013年にかけての世界の二酸化炭素排出量の変化について、1990年の排出総量が206億トン (日本の割合5.1%) であったのに対し、2013年には排出総量が322億トン (日本の割合4.8%) に増加したという統計があります。この数値から読み取れる日本の二酸化炭素排出の実態について、正しい記述を選択してください。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 世界の排出総量が大幅に増加したため、日本の排出割合がわずかに低下していても、実際の排出量そのものは1990年時点よりも増加している。 | 2. 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑える国際的な取り組みにより、世界全体の排出総量は1990年を下回る水準まで改善された。 | 3. 日本の排出割合の低下は、アメリカ合衆国や中国などの排出総量が減少したことで、相対的に日本の割合が下がったことを示している。 | 4. 排出割合が5.1%から4.8%に低下しているため、省エネ技術の普及によって日本国内の実際の排出量も1990年時点より減少している。 |
|---|--|--|--|
- 問10 バングラデシュやインドネシアなどの留学生を対象とした、食の多様性に関する報告があります。それらの国々で広く信仰されている宗教では、食事に関して厳しい禁忌 (タブー) が定められています。この宗教の戒律において、摂取が厳しく制限されているものの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|-----------|-------------|
| 1. 魚介類と卵 | 2. 牛肉と乳製品 | 3. 根菜類と鶏肉 | 4. 豚肉とアルコール |
|----------|-----------|-----------|-------------|
- 問11 一年を通して月平均気温が約25度以上で一定しており、月間降水量が100mmから300mm程度に達する非常に高温多湿な地域があります。赤道直下に見られるこのような特徴を持つ気候帯を何といいますか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 乾燥帯 | 2. 温帯 | 3. 寒帯 | 4. 熱帯 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問12 北半球の高緯度地域に位置し、最寒月の平均気温がマイナス40度近くまで下がる一方で、夏季には15度程度まで上昇するという、年間の気温差が非常に大きい気候区分を何といいますか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-------------|-----------|-----------|
| 1. 西岸海洋性気候 | 2. 亜寒帯 (冷帯) | 3. 地中海性気候 | 4. ツンドラ気候 |
|------------|-------------|-----------|-----------|
- 問13 イヌイットの人々が、伝統的にアザラシなどの獣皮を衣服に利用してきた理由として、現地の自然環境を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 乾燥帯で羊の飼育が盛んであり、その羊毛を加工する技術が未発達だったから | 2. 温帯の広葉樹林から得られる植物繊維よりも、獣皮の方が大量生産に向いていたから | 3. 寒帯に属し樹木や綿花が育たないため、衣類の原料を狩猟による副産物に頼る必要があったから | 4. 熱帯のように湿度が高いため、通気性と防水性に優れた動物の皮が最も適していたから |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 暖流の北大西洋海流の上を吹き、温かい空気を運んでくる偏西風の影響を受けるため	西岸海洋性気候が緯度のわりに温暖である背景には、2つの大きな要因があります。1つは、低緯度から温かい水を運ぶ暖流である北大西洋海流が沿岸を流れていること。もう1つは、その暖流の上を通過して温められた空気を、一年中吹く偏西風が大陸へと運び込むことです。この仕組みにより、冬の寒さが和らげられています。
問2	答え 4 バイオエタノールの原料として利用され、ガソリンの代替燃料として普及している。	ブラジルでは1970年代の石油危機をきっかけに、輸入石油への依存度を下げるため、自国で大量に生産できるサトウキビからバイオエタノールを製造する国家プロジェクトが推進されました。現在では、エタノールとガソリンのどちらでも走行できるフレックス燃料車が広く普及しており、サトウキビは食料としてだけでなく、重要なエネルギー資源としての役割も担っています。
問3	答え 3 高床住居	ロシアなどの寒冷地では、建物の熱で地中の永久凍土が溶けると地盤が緩んで建物が沈み込んでしまうため、床を高くして熱を逃がす構造がとられます。一方で熱帯地域では、厳しい暑さへの対策として通風を確保し、地面からの湿気が室内にこもるのを防ぐ目的で同じ構造が用いられます。このように、異なる目的であっても同じような建築の工夫が見られるのが特徴です。
問4	答え 1 家畜の移動に合わせて、簡単に組み立てや解体ができるようになっている	モンゴルの伝統的な住居（ゲル）は、遊牧という生活様式に適応したものです。家畜の餌となる草を求めて移動を繰り返す必要があるため、身近な素材である羊毛を使い、かつ分解や持ち運びが容易な構造になっています。
問5	答え 1 プランテーション	熱帯雨林気候のような特殊な気候条件を活かし、先進国の資本や技術と現地の安価な労働力を組み合わせて、特定の農産物を大規模に単一栽培する経営形態をプランテーションと呼びます。自給自足的な農業ではなく、世界市場への輸出を前提としたモノカルチャー経済の背景となっている場合が多いです。
問6	答え 1 サバナ気候	赤道に近い熱帯の中でも、一年中雨が降り続く熱帯雨林気候に対し、明瞭な「雨季」と「乾季」の周期を持つのがこの気候の特徴です。乾季には草が枯れ、雨季に成長する丈の長い草原が広がるため、野生動物が多く生息する景観が見られます。
問7	答え 3 日干しれんが	降水量が極めて少なく樹木が育ちにくい乾燥地域では、建築用の木材を確保することが困難です。そのため、身近にある土を型に入れて太陽光で乾燥させた「日干しれんが」が、古くから住居の壁などの材料として広く使われてきました。
問8	答え 4 赤道付近で強い日差しを受け、盛んに上昇気流が発生することで、年中高温多雨となる。	マナオスの統計データが示す「年中高温」かつ「年中多雨」という特徴は、赤道収束帯（熱帯収束帯）の影響を強く受けていることを示しています。この地域では地表面が強く暖められることで上昇気流が絶えず発生し、厚い雲が作られ続けるため、乾季が存在せず熱帯雨林が発達します。
問9	答え 1 世界の排出総量が大幅に増加したため、日本の排出割合がわずかに低下していても、実際の排出量そのものは1990年時点よりも増加している。	1990年の日本の排出量は約10.5億トン（206億トン×0.051）であり、2013年は約15.5億トン（322億トン×0.048）となります。このように、比較の基準となる「世界の排出総量」が約1.5倍に増えているため、構成比（パーセント）がわずかに減少していても、実際の排出量は大幅に増加していることがわかります。地球温暖化の要因となる二酸化炭素などの温室効果ガス削減は世界共通の課題ですが、新興国の経済成長に伴い、世界全体の排出量は増加傾向にあります。
問10	答え 4 豚肉とアルコール	西アジアから東南アジア、北アフリカにかけて広く信仰されているイスラム教では、教典に基づき、特定の食べ物を避ける規定があります。特に豚は不浄なものとしてその肉を食べることは厳しく禁じられており、同様に精神を昂ぶらせるアルコールの摂取も認められていません。学校や公共の場でこうした食の背景を理解することは、異文化理解の重要な一歩とされています。
問11	答え 4 熱帯	赤道付近は太陽からのエネルギーを最も強く受けるため、年間を通じて気温が高くなります。また、強い日射によって上昇気流が発生しやすく、多量の雨が降るため、高温多湿な環境が形成されます。この気候帯は、季節による気温の変化が少ないことも大きな特徴です。
問12	答え 2 亜寒帯（冷帯）	北半球の高緯度内陸部などで見られるこの気候は、冬の寒さが極めて厳しい反面、夏は短いながらも気温が上がるため、年間の気温差（年較差）が非常に大きくなるのが特徴です。樹木が育たない寒帯（ツンドラ気候など）とは異なり、夏に気温が上がるため森林が形成されます。
問13	答え 3 寒帯に属し樹木や綿花が育たないため、衣類の原料を狩猟による副産物に頼る必要があったから	イヌイットが居住する北極圏は、短い夏に地表の氷が解ける程度で、樹木が生育できない「ツンドラ」と呼ばれる環境が広がっています。綿花や麻などの植物から繊維を得ることができないため、生活に必要な衣類や道具の材料を、食用として狩猟したアザラシやカリブー（トナカイ）などの皮や骨から得るという、環境に適応した循環型の生活様式が成立しました。